

令和5年度地域自立支援協議会交流会の開催報告

1 目的

- 都内の地域自立支援協議会関係者の交流の場を設定し、活動状況等に関する情報交換を実施することにより、各地域自立支援協議会の円滑な運営や活動の活性化を図る。
- 東京都自立支援協議会として、都内の地域自立支援協議会の活動状況等を把握する。

2 日時

- 令和5年8月28日（月曜日）午後1時から午後4時30分まで

3 会場

- 東京都社会福祉保健医療研修センター

4 取り組みポイント

- 「地域協議会間のつながりをつくりながら、当事者の主体的な参画による、地域移行・地域生活支援への先駆的取組を共有する」という都協議会の活動方針のもと、例年より幅広い声かけを行った。
- 話題提起では、市部と区部地域協議会より、「当事者の参画による地域移行・地域生活支援への取り組みの意義」について、行政の職員と当事者委員の方から先駆的な取組報告を行った。
- グループ討議では、参加区市や地域協議会での立場が異なるメンバーで10のグループを作り、当事者が参画する意義や合理的配慮、地域移行・地域生活支援を進めるうえでのヒントなどについて、話し合い、全体発表を行った。

5 アンケート結果 75名

*区市町村からの参加者：78名（14区12市） ※申込者89名（14区14市）

(1) 話題提起

評価	非常に参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考に ならなかった	無回答	合計
人数 (%)	35 (46.7%)	39 (52.0%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	75 (100%)

(2) グループ討議

評価	非常に参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考に ならなかった	無回答	合計
人数 (%)	30 (40.0%)	41 (54.7%)	2 (2.7%)	0 (0.0%)	2 (2.7%)	75 (100%)

(主な意見)

- ・自分の市で「まず」は何をするのかというテーマが良かったです。
- ・テーマ設定が適切でグループ討議で意見を出しやすかった。
- ・他自治体の取組を知ることができ、当事者参画の重要性の意識が強まった。
- ・話題提起を聞いて、当事者の声をどのように聴き取るかを考えさせられた。地域自立支援協議会における当事者の座席の配慮、支援者の関わりについて考え直すきっかけとなった。
- ・当事者の声をいかにして聴き取り、当事者だけでなく、自区市町村民にどう理解してもらうかも重要な課題だと感じた。
- ・当事者がファシリテーターとして入ることで自協議会での当事者参画をイメージすることができた。
- ・対面でグループ討議を行うことで、各区市町村の熱量をそのまま感じることで良かった。
- ・当事者の方を交え、楽しい交流の場となった。「楽しい」から「積極的な意見交換」につながることを改めて実感した。
- ・地域移行について「にも包括」で検討している自治体がけっこうあると感じましたので、地域移行についてはテーマから外してもよかったのでは